

第1章 全体将来像と基本目標

1-1 全体将来像と基本目標の構成

全体将来像と基本目標は、第2章で提案する12の分野別提案においてまとめた将来像をもとに、板橋のまちづくりの目標として体系化したものです。

ここでは、全体将来像と基本目標の構成について、分野別の将来像との関連を整理して示します。

全体将来像と基本目標の構成

(次ページ参照)

全体将来像は、

「快適・安心な暮らし、住み続けたいまち“板橋”～自立と交流がつくる元気なまち～」と設定し、この将来像を実現するための、すべての取り組みの基本理念を、

「**だれもが互いに尊重しあい、自分らしく暮らせるまちづくり**」とします。

次に、全体将来像を実現するための提案を、『人の暮らし』『地域の姿』『しくみ』の三つのくくりで表しています。

その上で、『人の暮らし』の基本目標に、次の四つを設定します。

いつまでも健康で暮らせるまちづくり

子どもがすくすく育つまちづくり

創造力と活力あふれる産業を生み出すまちづくり

安全に安心して暮らせるまちづくり

また、『人の暮らし』をとりまく『地域の姿』の基本目標を、次のとおり設定します。

地域のみどり、水、歴史・文化を生かした個性豊かなまちづくり

さらに、「人の暮らし」「地域の姿」の基本目標、将来像を実現する『しくみ』の基本目標として、次のとおり設定します。

区民主体の参画による協働のまちづくり

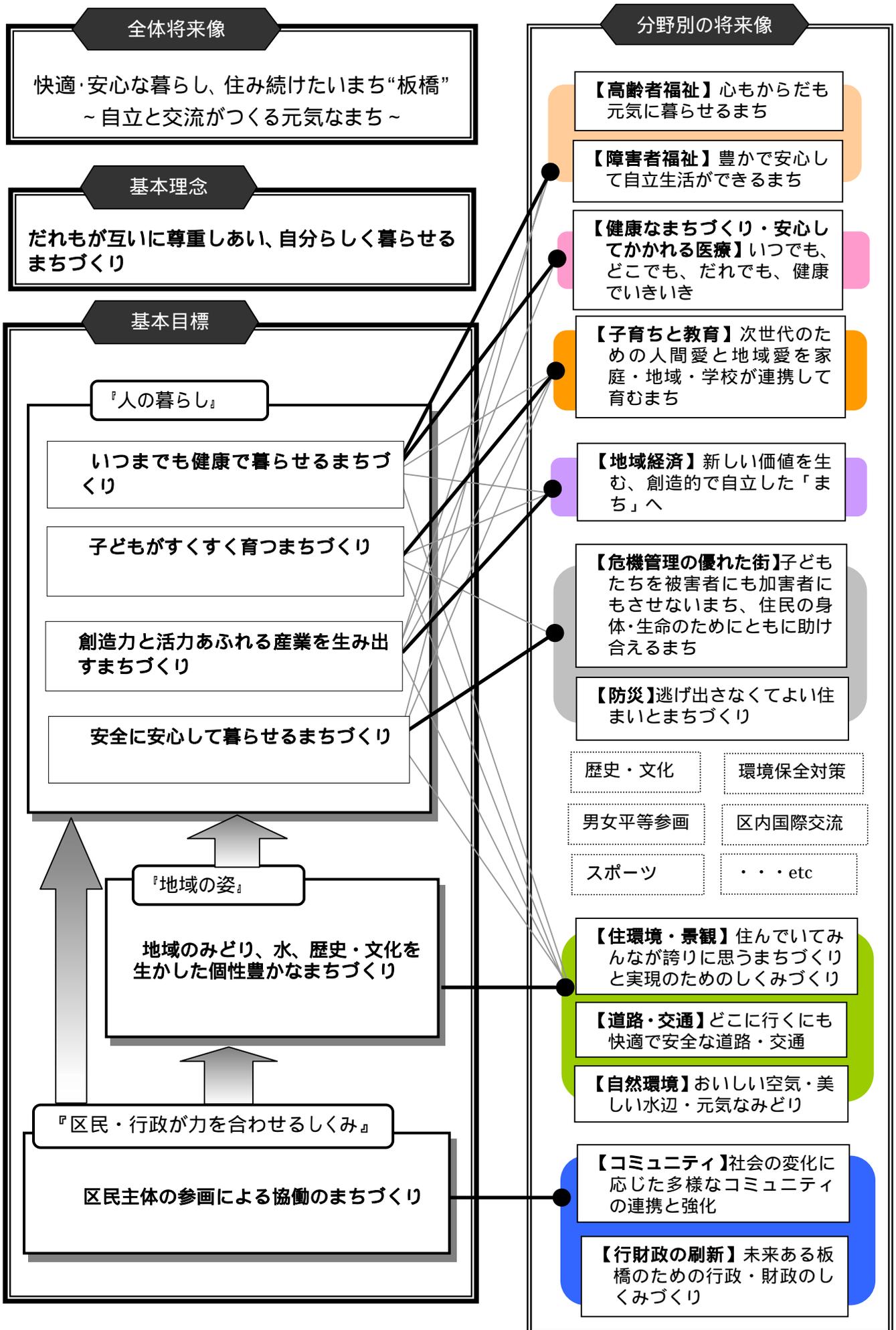
基本目標の達成に向けて

(次ページ参照)

基本目標と、第2章でまとめた分野別提案の将来像(□)で表示)との関連を次ページに示します。また、本ワークショップにおいては、「歴史・文化」「男女平等参画」など(□)で表示)検討できなかった分野もあります。

この関連図が示すように、「人の暮らし」の基本目標を達成するためには、特に関連の深い分野(●)における取り組みを進めていくと同時に、それぞれの分野での、相互に関連した取り組みが重要になると考えます。

区民も行政も、分野別の縦割りの取り組みでは、十分な成果を得るのが難しいことを念頭に置き、「区民と行政が力を合わせるしくみ」づくりに取り組んでいかなければなりません。



1 - 2 全体将来像と基本理念

全体将来像

快適・安心な暮らし、住み続けたいまち“板橋”
～ 自立と交流がつくる元気なまち～

将来、すべての人が、快適に安心して暮らし、住み続けたいと思うまちの実現をめざします。

こうしたまちを、区民・行政、すべての主体の自立と交流によってつくり、元気なまちとして発展させ続けることをめざします。

基本理念

だれもが互いに尊重しあい、自分らしく暮らせるまちづくり

「だれもが互いに尊重しあい、自分らしく暮らせるまちづくり」は、将来像を達成するための取り組みすべてにおいて、区民と行政が共有すべき基礎となる考え方です。

1 - 3 基本目標

『人の暮らし』

いつまでも健康で暮らせるまちづくり

子どもがすくすく育つまちづくり

創造力と活力あふれる産業を生み出すまちづくり

安全に安心して暮らせるまちづくり

全体将来像を実現する基本目標として、まず、『人の暮らし』の基本目標を四つ掲げます。

区民生活の質が向上することが、区民と行政にとって共有すべき最も大切な基本目標です。

「だれもが互いに尊重しあい、自分らしく暮らせるまちづくり」の基本理念のもとに、四つの基本目標を設定します。

一つは、高齢者・障害者をはじめ、すべての区民が「いつまでも健康で暮らせるまちづくり」です。

二つめは、次世代を担う子どもたちを、家庭・地域・学校が連携して育む「子どもがすくすく育つまちづくり」です。

三つめは、新しい価値を生む創造的な地域経済活動が展開される、「創造力と活力あふれる産業を生み出すまちづくり」です。

四つめは、最近の犯罪の増加に伴う防犯、高齢社会に対応した防災への取り組みが充実した「安全に安心して暮らせるまちづくり」です。

『地域の姿』

地域のみどり、水、歴史・文化を生かした個性豊かなまちづくり

「住み続けたいまち」の実現には、「人の暮らし」が安心して支えられた充実したものであると同時に、『地域の姿』が魅力的であることが必要です。

そこで、「板橋らしい地域の魅力的な姿は、なんだろう」という議論から、基本目標を設定しました。

板橋らしさは、地域によって個性が豊かであることであり、その個性は、赤塚地域を中心とした「みどり」、荒川・石神井川・新河岸川などの「水」、中山道板橋宿を中心とした「歴史・文化」などが醸し出しているものです。

こうした地域の個性を大切にした住環境・街並みが形成され、自然環境の魅力が高まり、区内どこへ行くにも便利な交通環境が一層発達した「**地域のみどり、水、歴史・文化を生かした個性豊かなまちづくり**」を基本目標に設定します。

『区民・行政が力を合わせるしくみ』の基本目標

区民主体の参画による協働のまちづくり

将来像を実現する『しくみ』についての基本目標を設定します。

現在、板橋区の地域社会は、長年住み続けている人、近年住み始めた人、高齢者やファミリー層、学生、外国人など様々な人々で形成されています。地域活動の形態も多様であり、町会・自治会活動、多様なボランティア・NPOによる市民活動などがあります。

こうした背景のもとに、区民のニーズは多様化しており、行政だけで区民のニーズを満たすことはできません。社会の変化に応じた多様なコミュニティの連携・強化により区民が力を高め、区民と行政が協働して目標をたて、実現のための取り組みを進行管理しながら着実に行う「**区民主体の参画による協働のまちづくり**」を基本目標に設定します。